

高円宮杯2016ホッケー日本リーグ

ホッケー日本リーグ機構

【男子】第1節 第2日

開催日時 4月24日(日) 会場 小矢部市ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 9:00~

山梨学院OCTOBER EAGLES	1	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	1	ALDER飯能
1 勝 1 分 0 敗 勝点 4				勝点 1 0 勝 1 分 1 敗

第2試合 10:30~

天理大学ベアーズ	2	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 1 & -2 \end{pmatrix}$	2	診療印刷
1 勝 1 分 0 敗 勝点 4				勝点 4 1 勝 1 分 0 敗

第3試合 12:00~

小矢部RED OX	2	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -1 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	1	Selrio島根
2 勝 0 分 0 敗 勝点 6				勝点 0 0 勝 0 分 2 敗

第4試合 13:30~

法政大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$	1	駿河台大学
1 勝 0 分 1 敗 勝点 3				勝点 3 1 勝 0 分 1 敗

第5試合 15:00~

東京農業大学	1	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -1 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	1	LIEBE 栃木
0 勝 2 分 0 敗 勝点 2				勝点 2 0 勝 2 分 1 敗

第6試合 16:30~

立命館ホリーズ	2	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	0	福井クラブ
1 勝 0 分 1 敗 勝点 3				勝点 3 1 勝 0 分 1 敗

第1試合

山梨学院OCTOBER EAGLES 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 ALDER飯能

勝点 4

勝点 1

1 勝 1 分 0 敗

0 勝 1 分 1 敗

得点	山梨→59分小川		
	飯能→34分北里		
戦評	<p>山梨学院のセンターパスにより試合が開始された。開始からお互い譲らず、一進一退の攻防が続く中、山梨が何度かチャンスを得るが得点には至らない。</p> <p>第2Qは、山梨が優勢に試合を運び27分山梨#10山崎のドリブルからPCを取得するが、飯能#6阿部の好守に阻まれ先制のチャンスを逃す。その後も両チーム中盤での攻防が続き、0-0で前半戦を終了する。</p> <p>第3Q、34分にPCを取得した飯能は、#11北里がフリックシュートを決め待望の先制点をあげる。一方1点が欲しい山梨はキャプテン朝倉を中心に走力を活かした早い攻撃を仕掛けるが、飯能の堅い守りになかなかサークルに進入することができない。</p> <p>第4Q、飯能は#6安部のスクープから何度も攻撃を組み立てるが、ゴールまで至らない。このまま試合が終わるかと思われた59分、山梨学院#21小川がフリックシュートを豪快に決め、土壇場で同点に追い付き試合が終了した。</p>		
テクニカルオフィサー	新井 健史		アンパイア
ジャッジ	前田 恵、古林一平、山口 悟		
			小原 直也
			渡邊 道彦

第2試合

天理大学ベアーズ 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix}$ 2 診療印刷

勝点 4

勝点 4

1 勝 1 分 0 敗

1 勝 1 分 0 敗

得点	天理→31分落合、52分杉野		
	診療→47分奥谷、60分村田		
戦評	<p>第1Q、立ち上がりから両者激しい攻撃を続けるなか、5分天理が左サイドからサークルインし#16山川がシュートを放つが得点することができない。第2Q、天理は右サイドから相手を振り切る絶妙なパスでシュートまで繋げるが、診療GK関澤の好守で得点を阻まれる。その後、両者決定打のないまま前半戦が終了。第3Q、後半開始早々の31分天理#20落合がドリブルで持ち込みシュートを決め先制点をあげる。診療は#6村田を中心にキレのあるドリブルとパスでチャンスを作るが、なかなか優位に試合を進めることができない。第4Q、47分PCを得た診療が#6村田のリバースヒットを#1奥谷がタッチし、同点に追いつく。51分には天理#9山水からのパスに#11杉野の見事なタッチシュートが決まり追加点をあげる。終了間際60分にPCを獲得した診療は、#6村田のタッチシュートが決まり2-2の同点とし、試合が終了した。</p>		
テクニカルオフィサー	松原 和朗		アンパイア
ジャッジ	西永哲成、新井 稜、大巻巨樹		
			成田 健一
			戸塚 洋介

第3試合

		(ホッケー日本リーグ機構		
小矢部RED OX	2)	0 - 0 1 - 1 1 - 0	1	Selrio島根
勝点 6		勝点 0			
2 勝 0 分 0 敗		0 勝 0 分 2 敗			

得点	小矢部→35分坂本、58分岡崎			
	島根→45分長澤			
戦評	<p>第1Q、開始早々島根が右サイドから果敢に攻撃を仕掛け小矢部陣内に攻め入る。小矢部も7分に#28坂本がシュートを放つも得点にはならず。その後、両者中盤での攻防が続く、両チーム決定的なチャンスを作ることができない。</p> <p>第2Qに入り、徐々に小矢部が主導権を握り何度もシュートを放つが、なかなかゴールを割ることが出来ない。一方の島根は、DFからのロングパスで前線にパスを繋ぎPCを獲得するも小矢部GK#16石塚に阻止され両チーム無得点のまま前半戦を終える。</p> <p>第3Q、試合が動いたのは35分。小矢部#19坪内からのパスを#28坂本が確実にシュートを決め小矢部が先制点をあげる。45分、島根#20福代が相手の反則を誘いPCを取得。それを#29長澤がゴール左上に決め1-1の同点とする。</p> <p>第4Q、追加点が欲しい両チームはお互いカウンターから早い攻撃でゴールを狙うが、得点には結びつかない。そんな中、58分にゴール前の混戦のこぼれ球を拾った小矢部#12岡崎が、落ちてリバースヒットシュートを決め貴重な追加点をあげる。試合はそのまま小矢部が逃げ切り、勝点6とした。</p>			
テクニカルオフィサー	森 義彦	アンパイア		高橋 英行
ジャッジ	松 保子、武部直美、前田 恵			西澤 英一郎

第4試合

		(0 - 0 0 - 1 0 - 0 0 - 0		
法政大学	0)	0 - 0 0 - 0	1	駿河台大学
勝点 3		勝点 3			
1 勝 0 分 1 敗		1 勝 0 分 1 敗			

得点	駿河台→29分高橋			
戦評	<p>駿河台大学のセンターパスにより試合が開始される。立ち上がりから両者一進一退の攻防を展開する。しかし、両チームともチャンスをつくれず、第1Qを終了した。</p> <p>法政大学は、第2Q開始早々から試合を優位に進め、ライト側やレフト側からの回り込みやドリブル突破で7分、20分、21分とたて続けにPCを獲得する。しかし、駿河台大学のGKやDFの好守に阻まれ、なかなか得点することができない。一方の駿河台大学は、粘り強い守備からチャンスをつくり、29分レフト側のFHを#8柏木がヒットでパス。#26高橋がそのボールをタッチし、ゴール右下に決め、0-1で第2Qを終了した。</p> <p>第3Qに入っても、法政大学がPCを3本獲得するなど、ゲームを支配するが、決定力に欠き、駿河台大学のリードのまま、第3Qを終了した。</p> <p>第4Qに入っても法政大学の優勢はかわらず、46分、47分と立て続けに決定的なチャンスをつくりシュートを放つが得点できず、駿河台大学は追いつがる法政大学を粘り強いディフェンスで守り抜き、0-1で勝利し、勝点3を獲得した。</p>			
テクニカルオフィサー	新井 健史	アンパイア		西山 宏明
ジャッジ	太田美雪、河邊隼太、朝倉誠哉			野澤 達

第5試合

ホッケー日本リーグ機構

東京農業大学 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 LIEBE 栃木

勝点 1

0 勝 1 分 0 敗

勝点 1

0 勝 1 分 1 敗

得点	東京農大→29分石村		
	栃木→48分瀬川		
戦評	<p>栃木のセンターパスにより試合が開始される。5分栃木#4那須が左サイドから攻撃を仕掛け相手の反則を誘いPCを得るも、得点することが出来ない。東京農大も11分右サイドから#6小野が#7和氣へパスし、シュートチャンスを得るが得点には至らない。</p> <p>第2Q、運動量で上回る東京農大は立て続けにフィールドシュート・PCを取得するもチャンスを活かすことが出来ない。第2Q終了間際、栃木がPCを取得し、連携したバリエーションで29分#1石村が待望の先制点を挙げ、栃木リードで前半を折り返す。</p> <p>第3Q、両者一步も引かず、一進一退の試合が展開される。同点に追い付きたい東京農大だが、栃木#2藤巻中心の堅いDFに攻撃を阻まれる。</p> <p>第4Q、一点を追う東京農大は48分#14瀬川のスピードのあるドリブルから激しい接触プレーから得たPCで、そのリバウンドを東京農大#14瀬川が粘り強く決め同点に追いつく。お互い勝ち越しの1点を追い、激しい攻防をを続けるが、好機を得ることが出来ず、そのまま同点で試合終了となる。</p>		
	テクニカルオフィサー	森 義彦	アンパイア
ジャッジ	前田弘美、倉地智弥、長岡巧真	栗原 崇	

第6試合

立命館ホリーズ 2 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 福井クラブ

勝点 3

1 勝 0 分 1 敗

勝点 0

0 勝 0 分 2 敗

得点	立命館→42分大堀、51分三浦		
戦評	<p>第1Q、開始早々立命館が右サイドから攻撃を仕掛け福井陣内に攻め込み、PCを取得するがGKの好セーブに阻まれ得点を奪えない。その後も、運動量に勝る立命館が、試合を優位に進める。一方の福井は、カウンターから#10三谷のドリブル突破でチャンスをつくるが得点にはいならず、両チーム無得点のまま第1Qを終了した。</p> <p>第2Qに入っても立命館が主導権を握り何度もシュートを放つが、なかなかゴールを割ることが出来ない。一方の福井は、DFからのロングパスで前線にパスを繋ぎチャンスをつくろうとするが、立命館の粘り強い守備に阻まれ得点できない。</p> <p>第3Qに入り、38分福井は前半同様カウンターからドリブルでサークル内にボールを持ち込みPCを取得するが、GKの好守に阻まれ得点できない。その後一進一退の攻防の中、立命館は、42分PCを獲得し、#6大堀がゴール左下にフリックシュートを決め1-0で第3Qを終了した。</p> <p>第4Q、反撃を試みる福井は、ライト側から果敢に攻撃を試み、チャンスをつくろうとするが得点できず、一方の立命館は51分福井のボールをインターセプトし、縦にパス。ライト側から回り込みゴール前の#9三浦が折り返し、ダイレクトシュートを決め、貴重な追加点をあげる。試合はそのまま立命館が逃げ切り、勝点3とした。</p>		
	テクニカルオフィサー	松原 和朗	アンパイア
ジャッジ	竹倉昌美、村中香穂、桑原和世	高橋 英行	